

# アユの無薬養殖成功

宮崎大学の前田昌調名誉教授（微生物学）らは24日、宮崎県庁で記者会見し、長年アユの養殖業者らを悩ませている「冷水病」対策として、善玉菌を使用した無薬養殖に全国で初めて成功した、と発表した。既に善玉菌の特許を取得、早ければ年内にも市販化する予定。前田名誉教授らは「実用化により安全・安心を担保すると同時に、将来的に無薬アユのブランド化も期待できる」としている。

## 善玉菌使い冷水病菌を抑制

前田名誉教授による然アユでも発症すると、冷水病にはこれまで、1990年に約1万7千トだった全国で抗生物質やワクチン、加温治療などが有漁獲量が近年約340トとされてきたが、い0トまで激減した主因の一つとみられていず、全国的に被害が拡大。養殖だけでなく天

## 宮崎大学名誉教授ら



善玉菌を使った無薬養殖で育ったアユを持つ養殖会社社長の是則由員さん  
 24日、宮崎県庁

**Q** **ズーム**  
**冷水病**  
 アユなどの体内に「フラボバクテリウム・サイクロフィラム」と呼ばれる細菌が入り、表面がたれたり内臓が侵されて死ぬ病気。冷水で発症しやすいため、アユのほかにサケ科の魚でも発症するとされる。1990年ごろから全国各地で感染が確認。アユの放流などにより、天然水域でのまん延も懸念されている。

崎県水産試験場などと共同で2004年、善玉菌によるバイオコントロール研究を本格的に開始。小林市内のわき水から採取した同菌の一種（シユウドモナス菌MS-1株）が冷水病菌の増殖を抑制し、家畜や植物に対しても無害であることを確認した。

## 特許取得、年内にも市販化

月2回配合飼料に混ぜて投与。例年多い時で全体生産量（稚魚含め年間500万匹）の2割程度発症していたが、今シーズンは発生していないという。

前田名誉教授は「養殖だけでなく放流後のアユにも効果が見込めるため、激減する漁獲量の回復に期待が持てる」。是則社長も「予想以上の効果。毎年、冷水病に苦慮していただけにうれしい。全国に無薬アユが広がれば」と話していた。